

# 「読書力」サポートアプリ

— 指導者(保護者)向けテキスト —



## 「読書力」サポート

本アプリは、独立行政法人国立青少年教育振興機構から、「子どもゆめ基金」の子ども向け教材開発・普及活動に関する助成を受けて制作しています。非営利目的の青少年教育活動で使用するにはご連絡ください。

\*掲載したアプリ画面は、アップデートにより変更される場合があります。



NPO法人

スマイル・プラネット

## 「読書の楽しさ」を通して、読みの苦手を軽減・克服！

読みの苦手を改善する方法が  
分かってきました！

- 一文字ずつ読む力を育てる。
- 単語をまとまりとして読む力を育てる。
- 漢字単語を読む力を育てる。



単語読みの改善が、  
文章の音読の改善に  
つながることが  
分かってきました。

本アプリでは、簡単な取り組みで  
流ちょうな読みへと改善！

- 文章に出てくる漢字に馴染む。
- 文章の読解を促す。

### 効果的に利用できる教材の条件

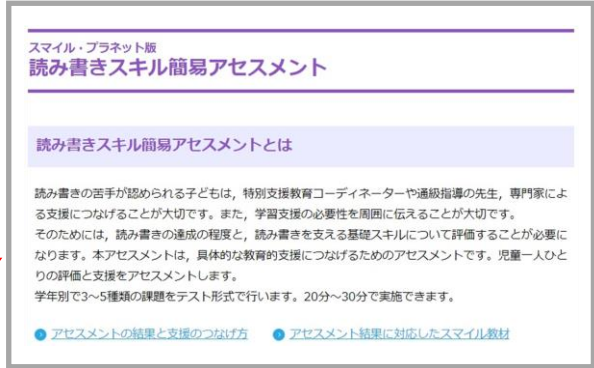
- アセスメントと関連づいている。
- ふだん学習する学年に応じた教材に対応している。
- 無理のない練習で、読みの改善を実感できる。
- 内容を理解することで読書の楽しさを実感できる。

## 本アプリの特色

- ① **アセスメントで苦手分野を把握できる。**  
\*アセスメント結果から、練習のポイントを知ることができます。
- ② **学年に応じた作品を選択できる。**  
\*子どもの学年に合わせて、教科書の代表作品を選択することができます。
- ③ **教科書作品で学習できる。**  
\*教科書に出てくる単語(かな・漢字)をきめ細かく取り上げています。
- ④ **単語を視覚的に把握できる(単語読みの練習)。**  
\*平仮名や特別な読み方の単語、漢字単語を視覚的に把握する練習ができます。
- ⑤ **練習を通して音読の改善を経験できる。**  
\*単語読みの練習後に再度音読することで、音読の改善を実感できます。
- ⑥ **問題を解いていくことで、文章の内容を把握することができます。**  
\*小さいまとまり(数画面)ごとに問題を解いていくことで、文章の内容を把握することができます。

# 本アプリの使い方

## 1 アセスメントで、子どもの苦手に応じた課題を把握する。



● アセスメントは、メニュー画面に掲載している、NPO 法人スマイル・プラネットの Web サイトにアクセスして行います。

\* 1年生では、平仮名单語の読み、順唱、特殊音節について、得意分野と苦手分野を把握します。

\* 2年生以上では、漢字の読み書きも加えて把握します。

### 【アセスメント結果に応じた練習】

#### アセスメント結果から分かる 苦手のタイプ

- 平仮名の文字を読むことが苦手。
- 平仮名の単語を読むことが苦手。
- 特殊音節を読むことが苦手。
- 漢字単語を読むことが苦手。

#### 本アプリの「音読の練習」

- お話に出てくる言葉①(平仮名单語)
- お話に出てくる言葉②(特殊音節単語)
- お話に出てくる漢字(漢字単語)

\* 読みに苦手なところがない児童には、お話の内容を読み取る練習にチャレンジさせましょう。

● 読み取りチャレンジ

## 2 練習する作品を選ぶ。



- 各学年の代表的な教科書作品を掲載しています。子どもの興味を手掛かりに選んでください。

	物語	説明文
1年	おおきなかぶ くじらぐも	くちばし
2年	ふきのとう	たんぼぼのちえ
3年	きつつきの商売 モチモチの木	すがたをかえる大豆
4年	白いぼうし ごんぎつね	
5年	大造じいさんとガン 注文の多い料理店	千年の釘にいどむ
6年	カレーライス 海の命	『鳥獣戯画』を読む

- ある程度のもともりごとに分割されています。子どもの実態に応じて、進めていきましょう。

## 3 お話を聞く。



- 作品(選んだまとまり部分)の朗読が聞けます。
- 「つぎ」「まえ」を押したり、画面をスライドさせたりすることにより、ページを移ることができます。
- 「お話を音読する」や「音読の練習」をする前に、まとまりの最初から最後まで、画面を指でなぞりながら、お話を聞くことをお勧めします。
- 一度通しでお話を聞いて、作品のあらましをつかんでから学習を進めるとよいでしょう。

## 4 お話を音読する。



- 選んだ作品をまとまりごとに音読し、録音することができます。
- 録音した音読を聞いて、自分の読みを確認します。

### 録音を聞く際のチェックポイント！

録音した音声に合わせて画面をなぞりながら、子どもと一緒に以下のことを確認する。

- ▶ どの言葉で読み詰まっているか。
- ▶ どの言葉を読み誤っているか。
- ▶ どの言葉が読めていないか。

## 5 音読の練習をする。



- 正しい単語の文字全体の形に慣れさせます。  
この練習をすることで、一文字ずつ読まなくても、文字全体で読めるようになります。  
⇒単語をスムーズに判断できるようになります。  
⇒その単語を含む文章の音読が改善されます。
- 音読の練習には、次の3つのスキルがあります。
  - ▶ 「お話に出てくる言葉①」(平仮名单語)
  - ▶ 「お話に出てくる言葉②」(特殊音節)
  - ▶ 「お話に出てくる漢字」(漢字単語)
 ⇒アセスメント結果に応じて、課題を決めて練習しましょう。
- 「お話に出てくる言葉①②」には、レベル1～レベル3があります。

【「お話に出てくる言葉①②」のレベルについて】

【レベル1】



文章中の色のついた言葉と  
同じ言葉を選択します。

【レベル2】



文章中の空欄に入る言葉を  
選択します。

【レベル3】



文章はなく、作品に出てくる  
言葉を選択します。

⇒いずれも、その画面内の単語を早く判断するように教示します。

\*画面の下に、正答するのにかかった時間が表示されるので、チャレンジのたびに判断の時間が短くなるように指導するとよいでしょう。

「音読の改善」の  
確認の仕方

お話を音読する

選んだ作品をまとまりごと  
に音読して、録音する。  
⇒チェックポイントの確認

初めて読む文章は、い  
ろんなところに引っ掛  
かって、うまく読めな  
いや。



音読の練習

音読した範囲に出てくる言  
葉が読めるように、問題に  
チャレンジする。

出てくる言葉を、何度  
も練習するうちに、単  
語が目馴染んできた  
ぞたぞ!



お話を音読する

練習後に、同じ範囲の音読を  
して録音し、最初にチェック  
したポイントを確認する。

最初に比べて、うまく読  
めるようになったし、読  
みながら話の内容も分  
かるぞ。楽しいな。



- ★流ちょうに読めるようになった部分があることを、子どもと確認しましょう。
  - ★読みの改善がみられるときは、子どもの興味を確認しながら、1週間に2〜3回取り組むとよいでしょう。
- ⇒読みの改善を経験・実感することは、“読むことが楽しい!”につながります。

## 6 読み取りにチャレンジする。



- 作品の内容を確認する問題が出題されます。「お話を聴く」で一度作品を読み直してから、用意された問題を、順に答えていきます。
- 問題に答えることを通して、作品の内容を読み取っていくことができます。

【「読み取りチャレンジ」のレベルについて】

【レベル1】

＜記述された内容の理解＞  
問題の答えが、文章の中に書かれています。

【レベル2】

＜記述されていない内容を理解＞  
作品全体や複数のまとまりから読み取って答える問題です。



文章の包括的な  
内容の把握へ

ここは、こういうことだろうな。



なるほど、こんな話だったのか。



登場人物の気持ちや作者の意図がわかってくると、読書ってとても楽しいよね。



## 【ログインの仕方】

### 初回のみ【新規アカウント登録画面】



まず、左の画面で、以下のことをしてください。

#### 【新規アカウントの登録】

- ① ID(メールアドレス)を入力してください。
- ② パスワードを任意に設定して、入力してください。※半角英数字8文字以上
- ③ パスワードを再入力してください。
- ④ 「プライバシーポリシー」をお読みいただき、同意する場合は○にチェックをして「登録」をおしてください。

\*以上で、登録が完了します。

\*続いて確認画面が表示されますので、画面の指示に従って進めてください。

\*一度ご登録いただいたら、次回以降、この画面は出ません。

### 2回目以降【ログイン画面】



2回目以降は、左の画面で、登録したID・パスワードでログインしてください。

\*「新規アカウント登録」「パスワード再発行」が必要な場合、ログアウト後に起動した画面から行うことができます。

\*登録した「メールアドレスの変更」「パスワードの変更」は、共通メニューより変更ができます。

